

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第4区)

東京都選挙管理委員会

安倍政権の暴走政治ストップ! 若い力で新しい政治を



日本共産党
あおやま 青山 26歳
あおやま 昂平 コウヘイ

「わたしは自民党支持だけど、安倍首相はひどすぎる」「ブレない共産党に頑張ってもらいたい」。街頭で訴えるたびに、多くのみなさんから激励をいただきます。今回の選挙で、「市民・野党の共闘」の力で、安倍暴走政治を終わらせ、新しい政治をつくるチャンスです。

- ① 憲法9条を守りぬく
 - 安保法制(戦争法)は廃止
 - 北朝鮮問題は、対話による平和的解決を
 - 特定秘密保護法、共謀罪法の廃止
 - 安倍政権による憲法9条改悪は許しません

- ② 消費税10%増税の中止、暮らし・福祉を応援し、格差を是正します
 - 認可保育園の増設で待機児解消
 - 奨学金拡充・義務教育の負担解消
 - 医療・介護・年金など社会保障の拡充

- ③ 8時間働けば普通に暮らせる社会を
 - 命と健康を守る、働くルールの確立
 - 最低賃金1500円をめざす
 - 日本経済の根幹にふさわしく中小企業を応援します

- ④ 国政の私物化を許しません
 - 森友・加計疑惑を徹底究明します

市民と野党の共闘の発展と日本共産党がのびてこそ政治を変える力です

日本共産党は、前回の総選挙で8議席から21議席へと大きく躍進。国会での発言力が飛躍的に増え、安倍政権を追及する大きな力になりました。市民と野党の共闘を前進させるうえでも貢献できたと考えます。安倍政権に退場の審判をくだし、平和で、すべての国民が大切にされる日本をいっしょにつくりましょう。

比例代表は
日本共産党
とお書きください

●日本共産党の政策の詳細は <http://kouhei.jcp-ota.jp/>

プロフィール
1991年静岡県沼津市生まれ(26歳)。中央大学法学部卒。全日本学生自治会総連合書記局長、首都圏学生9条の会ネットワーク事務局長などとして活動。現在、党都青年学生部員。党東京4区雇用と生活対策室長。

「国益の為に彼女が必要なんです」
作家・元外務省主任分析官
佐藤 優
慶應義塾大学教授
井手 英策

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

井戸まさえ プロフィール
1965年生まれ。東京女子大学卒。松下政経塾9期生。5児の母。三重大学、関西学院大学非常勤講師等を歴任。東洋経済新報社を経て、経済ジャーナリストとして独立。2005年より兵庫県議会議員。2009年、衆議院議員に初当選。無戸籍問題他、法の狭間で苦しむ人々の支援等を行う。第13回開高健ノンフィクション賞最終候補。2015年貧困ジャーナリズム賞受賞。

5児の母 井戸まさえは目指します!

- ① 「人への投資」・社会保障充実
 - ・ 幼稚園・保育園・高等教育無償化、給付型奨学金の充実
 - ・ 社会保障予算の切り捨てストップ
 - ・ 正規雇用拡大のため、中小企業社会保険料事業主負担軽減制度の創設
 - ・ 同一価値労働同一賃金の確立
- ② 平和主義
 - ・ 自国防衛に限る専守防衛を堅持
 - ・ 集団的自衛権を追求する憲法9条改正に反対
 - ・ 他国の戦争に参加する集団的自衛権を認めた安保法制の廃止
- ③ 脱原発
 - ・ 再生可能エネルギーの拡大で脱原発を推進、原発ゼロへ
- ④ 自由で多様性ある社会
 - ・ あらゆる差別に反対し、社会の分断阻止
 - ・ LGBT差別解消、選択的夫婦別姓、議員男女同数化の実現

「排除・選別」より「共生・共感」分かちあいの日本へ!

東京4区では、井戸まさえが先頭に立ちます。

止めるぞ「安倍政治」
守るぞ「平和」

「なんでも競争、自己責任」の自民党とは異なる「分かちあいの日本」という大きな目標が井戸まさえにはあります。しかし、その前にまず、ルールをふみにじり、行政を私物化する「安倍政治」を終わらせねばという強い危機感を持っています。また、日本の「平和主義」が危うくなっています。憲法違反の安保法制の次は、9条改憲です。この点では、希望の党も自民党と違いがありません。井戸まさえは日本の「平和主義」を守り抜きます。



立憲民主党公認
井戸 まさえ

平 将明 政策2017 『いくぞ、成長日本。』

プロフィール
昭和42年 2月21日生まれ・魚座・A型
早稲田大学法学部卒(早稲田実業中・高等部卒)
平成1年 サラリーマン生活後、大田青果市場仲卸3代目社長
平成8年 東京JC理事長として23区内全てで公開討論会実現
平成15年 43倍の公募競争を経て初当選・初当選(連続4期)
平成17年 参院選の自民党マニフェストの経済政策担当
平成22年 経済産業大臣政務官等に就任、「ミラサボ」を開設
平成24年 内閣府副大臣(地方創生、国家戦略特区等担当)
平成27年 RESAS(地域経済分析システム)の提供開始に尽力
平成28年 文藝春秋で「日本を元気にする人材125人」に選出
平成29年 NPO法人「万年野党」から三ツ星議員として連続表彰

現 在
自民党広報本部副部長兼ネットメディア局長
自民党経済構造改革に関する特命委員会事務局長
東京羽田ヴィキーズ(バスケットボール)後援会長
大田まちづくり芸術支援協会(asca)理事

水月會
Café Stc
比例代表も自民党へ

Inclusive & Sustainableな社会を目指して
平将明は、2年連続(2017&2018)で自民党の成長戦略立案(経済構造改革に関する特命委員会)を担当します。

外交・国防
外交力・行動力、国際社会と連携して、北朝鮮の核・ミサイルから日本を守る!

若い世代の参加で政治を刷新
選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、被選挙権年齢を17歳に引き下げ、21歳への引き下げを実現できる年齢の引き下げを実現へ

開かれた自民党 改革
ネット選挙運動の活性化と党員による総裁選ネット投票を解禁へ。みんなが総理を選ぼう

保育環境の飛躍的充実
国家戦略特区を活用した保育士試験改革(年1回から2回へ)、都市公園内の保育所新設に加え、地域医師会と連携した病児・病後児保育(医師会・病児・病後児保育)の実現へ

地域経済&地方創生
地域未来牽引企業をRESAS(地域経済分析システム)で抽出。その取引先までを生態系と捉え、集中支援することによって地域経済を活性化。地域おこし協力隊のスキームを活用して、起業を誘発する生態系づくりを構築。全国に水平展開。大田市場と羽田空港を機能的に連結、農産物の輸出拠点にして外需を取り込み

金融
日銀の非伝統的金融緩和政策(量的・質的金融緩和)は維持。確実なデフレ脱却へ
ESG投資を投資家の行動基準、SDGsを企業の行動基準とする金融生態系の確立

規制改革&イノベーション
サンドボックス型特区を創設。自動走行、ドローン、遠隔医療、遠隔教育、シェアリングエコノミー、フロンティア、ブロックチェーンをイノベーションと社会実装を促進
公共電波の民間開放(約3.7兆円相当)でGDP押し上げ
AIノド型研究開発・未踏プロジェクトでイノベーションを強力に推進

※詳しくはウェブをご覧ください
たいらまさあき 検索



自民党公認
たいら まさあき
平将明

希望の党 守るべきものはしっかり守る。変えるべきものは大胆に変える。

ナンバみちよ
プロフィール
昭和48年11月1日生まれ43歳
神奈川県横浜出身
1992年3月 神奈川県立追浜高等学校卒業
1992年4月 株式会社横浜銀行入行
2002年11月 有限会社シネクティクス 代表取締役就任
2009年12月 NPO法人宮頸がん啓発協会 代表理事就任
2012年9月 一般社団法人シンクパール 代表理事就任
2017年9月 一般社団法人シンクパール 代表理事退任 創設者顧問に就任
2017年9月 株式会社女性の健康懇話会 代表取締役

日本に希望を。
希望の党の公約

- 公約01 消費税増税凍結 景気回復を確実にするため、2年後の消費税増税を凍結します。
- 公約02 議員定数・議員報酬の削減 国会議員みずから身を切る改革を断行し、「しがらみ政治」から脱却します。
- 公約03 ポスト・アベノミクスの経済政策 徹底した規制改革と特区を最大活用し、民間の活力を生かした経済活性化を図ります。
- 公約04 原発ゼロへ 「2030年までに原発ゼロ」を目指します。徹底した省エネで、エコ社会に変えていきます。
- 公約05 雇用・教育・福祉の充実 正社員で働ける、結婚できる、子どもを育てられる社会。そこに少子化問題解決の力があります。
- 公約06 ダイバーシティ社会の実現 すべての人が輝ける社会をめざします。特に、女性、シニアの力をさらに生かします。
- 公約07 地域の活力と競争力の強化 現場に任せれば元気になる。道州制を導入し、地域が自分で決めればムダもなくなる。
- 公約08 憲法改正 憲法9条をふくめ憲法改正論議をすすめます。国民の知る権利、地方自治の分権を明記します。
- 公約09 危機管理の徹底 外交安全保障はもとより自然災害対策も強化し、国民の生命と主権を守る万全の備えを整えます。



希望の党公認
ナンバみちよ
43歳

(この選挙公報は、公職選挙法第169条第3項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

東京都第4区の区域は、次のとおりです。

◎大田区の次の地域

大森東1～5丁目、大森南1～5丁目、大森中1～3丁目、大森西1～7丁目、大森北1～6丁目、大森本町1・2丁目、平和島1～6丁目、昭和島1・2丁目、山王1～4丁目、平和の森公園、ふるさとの浜辺公園、東馬込1・2丁目、南馬込1～6丁目、中馬込1～3丁目、西馬込1・2丁目、北馬込1・2丁目、中央1～8丁目、池上1～8丁目、京浜島1～3丁目、東海1～6丁目、城南島1～7丁目、鵜の木1丁目、千鳥1～3丁目、南久が原1・2丁目、東糀谷1～6丁目、西糀谷1～4丁目、北糀谷1・2丁目、羽田旭町、羽田1～6丁目、本羽田1～3丁目、羽田空港1～3丁目、萩中1～3丁目、東六郷1～3丁目、西六郷1～4丁目、南六郷1～3丁目、仲六郷1～4丁目、下丸子1～4丁目、矢口1～3丁目、東矢口1～3丁目、多摩川1・2丁目、東蒲田1・2丁目、南蒲田1～3丁目、西蒲田1～8丁目、蒲田1～5丁目、蒲田本町1・2丁目、新蒲田1～3丁目

投票日10月22日(日) 午前7時から午後8時まで

(ただし、檜原村、奥多摩町及び新島村では、午前7時から午後6時まで)

小笠原村第二投票区(母島)では、10月21日(土)午前7時から午後8時まで

投票方法「小選挙区選出議員選挙」と「比例代表選出議員選挙」があります。

- ◇小選挙区選出議員選挙 → 「候補者氏名」を記載
- ◇比例代表選出議員選挙 → 「政党等の名称」を記載

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- ・期日前投票期間 10月11日(水)～10月21日(土) 午前8時30分から午後8時まで
- ・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
(期日前投票所によって、投票できる期間等が異なる場合がありますので、区市町村の選挙管理委員会におたずねください。)